

県議会議員

# おおたけりえ



県政レポート vol. 18

〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2  
TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

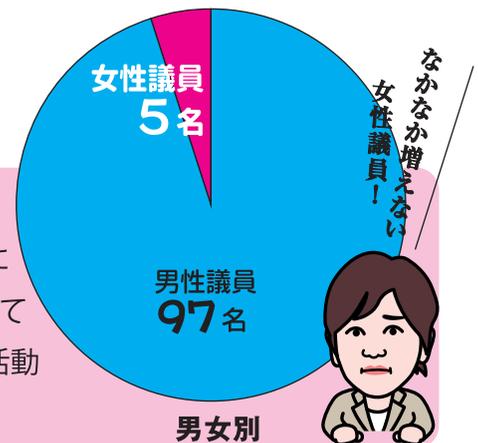
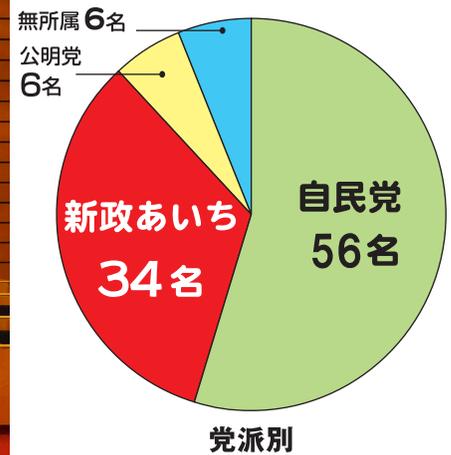
## 2期目がスタートしました！

皆様、いかがお過ごしでしょうか。わが県議会では、新たな任期がスタートしております。私は、会派「新政あいち県議団」に所属していますが、この度会派内の政務調査会副会長を拝命しました。これは、会派の政策に携わる役職であり、大変やりがいを感じております。また、今期から会派内で2つのプロジェクトチームが立ち上がり、私は「議員提案条例プロジェクトチーム」に入りました。皆様のまわりにある地域課題の解決を、議員の重要な役割の一つである議員提案条例という形で実現できるようしっかりと活動してまいります。また、地域課題の発見には、皆様の「困った」という事例が政策の種になります。ご意見ご感想などお寄せください。

### 愛知県議会の構成 (定数 102名) 2019年5月～2023年4月任期



新政あいち県議団 (34名)



私たち「新政あいち県議団」は、前の期と同じ34名の第2会派です。男女比では、全国的に女性議員が増加傾向であるのに反し、8名→5名と減少し、女性比率約5%の異常な状態となっております。少ないというハンディはあるものの、人一倍活動し、女性ならではの気付きを県政に反映したいと思います！



# 豚コレラ対策等補正予算成立！

6月議会は、6月14日から7月3日まで開かれました。盗難自動車対策として、「ヤードにおける盗難自動車の解体の防止に関する条例」を新設、2020年秋開業予定の「あいち朝日遺跡ミュージアム（清須市内）」の観覧料や指定管理等を定める条例改正、予算については一般会計約18億272万円、企業会計約2億円の補正予算が成立しました。特に、この地域に近い田原市等で発生した豚コレラの対策は、現在も警戒を解除できない状態です。農家さん方が再起をはかれるように支援していかなければならないと考えます。



## 補正予算約20億円が成立、主なものをご報告します

### 豚コレラ緊急対策

12億5049万円（債務負担行為4億6492万円）

防疫対策 2億9772万円、損失相当額の交付や貸付金の利子補給補助等の農家経営支援 2億9236万円、早期出荷対策 1億241万円、東三河食肉流通センター整備事業費補助金を含めた防疫体制強化 5億4959万円、経営再建のため母豚生産頭数拡大 840万円。

### 野生イノシシ対策

3億5956万円



渥美半島の野生イノシシ約800頭の根絶に向けて、捕獲データの解析と詳細マップ化、足跡の調査、生態の監視・捕獲。狩猟者の確保と技術向上のための講習会、捕獲活動支援のため1頭当たりの補助額7000円→2万円。他地域に追わない方法にて実施予定。

### 小規模事業者への伴走支援

3200万円



小規模事業者が取り組む経営革新に対して支援。補助率2/3。上限額100万円。経営に関する助言・技術指導などを実施する伴走支援事業者に対して助成。

### アジアパラ競技大会の検討

1769万円

2026年に愛知県で開催が決定しているアジア大会にあわせて障害者総合スポーツ大会であるパラリンピックを開催できるかどうか検討調査を行う。競技会場の要件や適合性、改修費用の算定、APCとの協議。



### 外国人の相談体制充実

2000万円

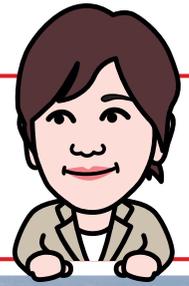
「あいち多文化共生センター（県庁三の丸庁舎内）」の相談体制を拡充。ポルトガル・スペイン・英・中国・フィリピン・タガログ・インドネシア・ベトナム・タイ・ネパール語に対応。出入国在留管理局職員等による専門相談、テレビ電話通訳サービスの導入、多言語翻訳アプリの導入を行う。

### 盗難自動車解体防止条例

2018年の自動車盗の発生件数は全国ワースト4位、839件被害総額約22億5900万円。多くは「ヤード（自動車解体施設）」において解体され、海外へ輸出される現状があり、ヤードも全国で4番目に多い。実態把握のための届け出制や自動車所有者の確認義務、確認事項の記録義務、立ち入り調査等を規定。

# 市内主要インフラの事業進捗状況

～皆様からお問い合わせの多いものを中心に、今年度の事業予定内容をご報告します。



## 国道 23 号蒲郡バイパス

豊川為当 IC ～蒲郡 IC 区間が唯一の未開通区間。今年度は用地取得の土地収用手続きを進めるとともに、豊沢トンネル工事や、金野地区の橋梁下部工事、為当地区の橋梁上下部工事を進める予定。

## 東三河環状線

大崎工区は、昨年度末で用地買収率が 97.3%、三蔵子工区は、昨年度末で買収率が 91.6%。昨年度は一部 3 月 12 日に供用開始（※写真）しました。今年度は引き続き用地買収と道路築造工事を予定。

石巻本町・当古工区は、昨年度から引き続き用地買収の進捗を図るとともに、一部道路築造工事に着手する予定。

東三河環状線 開通した四ツ家交差点



## 151 号一宮バイパス

2 区間に分けて事業を進めており、先行整備する区間は、現在約 9 割の用地を確保。今年度は、JR と交差する跨線橋の橋梁下部工事に着手予定。引き続き用地買収や区画整理地区北側の道路築造工事と、(仮称) 大坪橋の帯川左岸橋台工事も進める予定。

151 号一宮バイパス工事状況



## 県道豊川蒲郡線 (23 号建設工事箇所近く)

国道 23 号線蒲郡バイパスの整備に伴い、(仮称) 金野 IC へのアクセス道路として整備中。今年度は拡幅工事とバイパス整備区間の橋梁、御津川を渡る橋梁の下部工事を予定。

県道豊川蒲郡線工事状況



## 151 号宮下交差点 (五社稲荷近く)

昨年度発注した詳細設計ができ次第地元説明、その後工事発注を予定。橋梁下部工を現道の中心に築造するため、車道を切り回して施行ヤードを確保する工事をを行います。小坂井跨線橋のオン・オフランプ端の橋脚工事にも着手します。

現在の 151 号宮下交差点



## 姫街道アンダー道路 (宮地病院近く)

昨年度、鉄道事業者と 2 か年の委託契約を結び、鉄道敷地内の測量や地質調査のほか鉄道をくぐる構造物の施工計画や、現道の交通を切り回す際に必要となる仮踏切の位置等を検討中。

現在の姫街道踏切



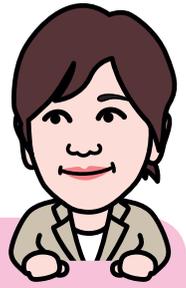
## 河川関係

今年度は、音羽川浸水想定図（最大規模想定）の作成、豊川河川整備計画の策定、善光寺川河道拡幅、音羽・御津川の河川改修、白川橋工事、御津川水門ゲートインゲート・電動機取替、安藤川樋門電動開閉機取替、西古瀬・佐奈川護岸工改修、山陰・西古瀬・御津・音羽川浚渫等を予定。

インフラ関係はよくお問合せを頂き、皆様の関心の高さを感じます。他市から引っ越してきた方から、「歩道の整備がまだまだ」という声を頂きました。歩行者の安全確保もしっかりと取り組みたいと思います。



# 今後の教育について一般質問！



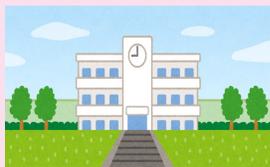
所属する教育スポーツ委員会にて一般質問をしました。委員会一般質問は、所管内の事項に限られますが、本会議一般質問のような時間制限はなく、じっくりと質疑ができる良さがあります。



## 老朽化激しい県立学校の ファシリティマネジメントの推進を

県の  
答弁

県立高校の空き教室は786教室。平成27～5年間の県立高校修繕費は5～6.6億円程度で1校あたり約300万円程度。（※私立高校の修繕費は1校あたり約1500万円程度）。長寿命化計画を策定し、来年度からの必要予算は110億円/年と試算。必要な予算確保に努めていく。



空き教室は、昼間定時制や通級指導教室への活用を検討。

## 高校の通級指導教室の新設

県の  
答弁

中学から高校への個別支援計画の引継ぎ率は、約3割と低い。市町村教委、校長会、各保護者へ働きかけ引き継ぐよう努めていく。高校の通級指導は、地域バランスを考慮し、来年度以降設置をすすめる。県立全ての高校で特別支援教育コーディネーターを中心に、障害の特性や程度に応じて学習や生活に適應できるように、通級による指導の拡充も含め指導体制の充実に努めていく。



## 中卒無業者への支援を！

県の  
答弁

中学を卒業しても進路が未定の人数が名古屋市、私学を除く公立中学校では437名。受験をしたが不合格で無業者になった人数が、公立高校全日制・通信制で27名、私立高校全日制・通信制で11名、それ以外を受けた人は6名、就職を希望したが未決定が20名、未受験372名。うち不登校の人が280名おり、対策が必要。中学校で適切な進路指導がなされるよう指導・助言するとともに、魅力ある学校づくりや高校入学者選抜制度を改善し、進路の決まらない無業者が生まれまいよう努めていく。

## 学齢期の性被害や中絶等性教育

県の  
答弁

県内の15歳未満の中絶数8人、18歳以下の中絶数436人という現実に対し、中絶は女性にとって身体的な負担が大きく、精神的にも大きな傷を残すことが少なくなく、10代で中絶をしている人が一定数いることは性教育の課題の一つと捉えている。性被害相談等の支援については、支援相談窓口を記載したカードを全ての高校生に配布し周知に努めている。性情報の氾濫など現代的な課題に適切に対応するよう検討していく。



教育とは「個々の人々が豊かな人生を送るためのもの」というノーベル化学賞受賞者野依博士の言葉が印象に残っています。この地域に住む子どもたちが、より良く生きていけるように、画一的でなく多様性を尊重しつつ、その子どもの持つ力を伸ばしていける場を増やしていくべきと考えます。また、学校だけで解決できない課題も増え続けております。行政部局の横断や民間と連携を深めて子どもを支え、課題解決につなげていきたいですね。



ご意見・ご感想などをお寄せください ●ホームページ——— <http://www.ootakerie.jp>

●発行 おおたけりえ事務所 〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2 TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

